

分野	専門分野		単位数	1	時間数	15
授業科目	老年看護学概論		学年時期	1年次 後期		
担当講師 (実務経験)	専任教員（看護師：臨床実務経験有）					
科目目標	高齢者の特徴を学び、社会の動向を踏まえ、生活する高齢者を支える保健・医療・福祉活動や看護の役割を理解する。					
回数	時間	授業内容	授業方法	担当講師		
1	2	科目ガイダンス、ライフサイクルから見た高齢者、加齢と老化、発達課題、時代背景、生活史など	講義、GW	専任教員		
2	2	統計的特徴、高齢者の健康と自立、高齢者と家族と暮らしの変化、生活環境、高齢者のいる家族の発達課題など	講義、GW	専任教員		
3	2	老化（生理的、病的）、加齢に伴う身体的・心理的・社会的側面の変化、恒常性の維持機能の低下、高齢者の疾病の特徴	講義、GW	専任教員		
4	2	加齢に伴う身体機能の変化（運動器系、感覚器系、呼吸器系、循環器系、消化器系、泌尿器系、生殖器系）	講義、GW	専任教員		
5	2	老年看護学の特徴、老年看護学における理論と概念、ICFの視点、高齢者の機能と評価、エンドオブライフケアなど	講義、GW	専任教員		
6	2	高齢者に関する保健医療福祉の変遷、医療保険制度、介護保険制度、地域包括ケアシステム、成年後見人制度など	講義、GW	専任教員		
7	2	老年看護における倫理（高齢者差別、虐待、身体拘束、権利擁護、意思決定支援など）と法律、ノーマライゼーションなど	講義、GW	専任教員		
8	1	終了試験	試験	専任教員		
評価方法	筆記試験・出席状況・授業への参加態度・課題の提出で総合的に評価する					
評価基準	60点以上で合格 60点未満の場合は再試験(1回のみ)					
テキスト	系統看護学講座 専門分野 老年看護学 医学書院 系統看護学講座 専門分野 老年看護 病態・疾患論 医学書院					
参考文献	山田律子編集：生活機能からみた老年看護過程 医学書院 亀井智子編集：根拠と事故防止からみた老年看護技術 医学書院 本田美和子、イヴ・ジネスト、ロゼット・マスコレッティ：ユマニチュード入門 医学書院 国民衛生の動向 厚生労働統計会					
備考	地域・在宅看護論とも関連させながら学んでいきましょう。					

分野	専門分野		単位数	1	時間数	15
授業科目	老年看護学方法論Ⅰ（健康問題の特徴と看護）		学年時期	1年次 後期		
担当講師 (実務経験)	非常勤講師（脳卒中リハビリテーション看護認定看護師：病棟勤務）					
科目目標	加齢現象に伴う諸機能の低下により、日常生活の障害によって引き起こされてくる高齢者の健康問題の特徴と症状およびその看護について理解する。					
回数	時間	授業内容			授業方法	担当講師
1	2	身体に加齢変化とアセスメント（皮膚とその付属器、感覚器と機能の変化、運動機能の変化など）			講義	非常勤講師
2	2	身体に加齢変化とアセスメント 運動器系に加齢変化と疾患・看護)			講義	非常勤講師
3	2	身体に加齢変化とアセスメント 老化と摂食嚥下について			講義	非常勤講師
4	2	老化と消化・排泄・代謝機能について			講義	非常勤講師
5	2	老年期の特徴が日常生活に与える影響、老化と排泄について			講義	非常勤講師
6	2	身体疾患のある高齢者の看護 老化と呼吸・循環について			講義	非常勤講師
7	2	認知機能障害と看護アセスメント（うつ・せん妄・認知症・コミュニケーション機能障害など）			講義	非常勤講師
8	1	終了試験			試験	
評価方法	筆記試験・出席状況・授業への参加態度・課題の提出で総合的に評価する					
評価基準	60点以上で合格 60点未満の場合は再試験(1回のみ)					
テキスト	系統看護学講座 専門分野 老年看護学 医学書院 系統看護学講座 専門分野 老年看護 病態・疾患論 医学書院					
参考文献	山田律子編集：生活機能からみた老年看護過程 医学書院 亀井智子編集：根拠と事故防止からみた老年看護技術 医学書院					
備考	加齢に伴う特徴的な健康障害から起こる生活機能障害の観点からアセスメントし、看護を展開する方法を学ぶ。					

分野	専門分野	単位数	1	時間数	15
授業科目	老年看護学方法論Ⅱ（日常生活援助技術）	学年時期	2年次 前期		
担当講師 (実務経験)	非常勤講師（認知症看護認定看護師：病棟勤務）				
科目目標	高齢者の価値や人生観を尊重し、より健康に生活を送るための日常生活援助を理解できる。				
回数	時間	授業内容	授業方法	担当講師	
1	2	認知機能低下に対する援助、認知機能評価、服薬管理 コミュニケーションの特徴と援助	講義	非常勤講師	
2	2	睡眠、せん妄、生活リズムなど活動と休息に対するアセスメント 高齢者の身体機能に応じた活動と休息に対する援助	講義	非常勤講師	
3	2	転倒転落の防止と転倒転落アセスメント、寝たきりのアセスメントと 援助、高齢者の総合的機能評価 日常生活動作指標（FIM,IADL,バーセルインデックス）活動耐性に対する 援助（演習）	講義 演習	非常勤講師	
4	2	食事・食生活に対するアセスメントと援助 窒息予防と対処、嚥下障害時の援助、口腔ケア、義歯の取り扱い、 摂食嚥下リハビリテーション、低栄養	講義 演習	非常勤講師	
5	2	排泄に対するアセスメントと援助 排便・排尿障害時の援助、失禁ケア、便秘時のケア、皮膚ケア	講義 演習	非常勤講師	
6	2	高齢者のセクシャリティ 高齢者の社会参加	講義	非常勤講師	
7	2	各健康の段階に応じた看護、外来を受診・入院治療を受ける高齢者の看護 検査・薬物療法を受ける高齢者の看護 手術・リハビリテーションを受ける高齢者の看護	講義	非常勤講師	
8	1	終了試験	試験		
評価方法	筆記試験・出席状況・授業への参加態度・課題の提出で総合的に評価する				
評価基準	60点以上で合格 60点未満の場合は再試験(1回のみ)				
テキスト	系統看護学講座 専門分野 老年看護学 医学書院 系統看護学講座 専門分野 老年看護 病態・疾患論 医学書院				
参考文献	亀井智子編集：根拠と事故防止からみた老年看護技術 医学書院 写真でわかる高齢者ケア～高齢者の心と体を理解し、生活の営みを支える～ インターメディカ				
備考	基礎看護技術で学習した看護技術をより対象に応じた方法で展開していく。				

分野	専門分野		単位数	1	時間数	15
授業科目	老年看護学方法論Ⅲ（看護過程の展開）		学年時期	2年次 後期		
担当講師 (実務経験)	①非常勤講師：認知症看護認定看護師 ②専任教員（看護師：臨床実務経験有）					
科目目標	老年期に起こりやすい健康問題とその経過の特徴を学び、観察力・判断力・看護の援助方法を活用し紙上事例により看護過程の展開ができるようになる。					
回数	時間	授業内容	授業方法	担当講師		
1	2	老年看護過程とは ICF 既往に認知症を持つ入院患者（誤嚥性肺炎）への看護過程の展開① 情報収集のポイント 分析・解釈のポイント	講義 GW	非常勤講師		
2	2	既往に認知症を持つ入院患者（誤嚥性肺炎）への看護過程の展開② 看護問題の抽出、看護計画立案のポイント	講義 GW	非常勤講師		
3	2	グループ発表 質疑応答とまとめ	講義 GW	非常勤講師		
4	2	目標志向型思考 生活行動モデル 紙上事例の施設入所者を対象に、老年看護学実習記録様式1を使用しグループワーク① 情報収集	講義 GW	専任教員		
5	2	グループ発表 質疑応答とまとめ	講義 GW	専任教員		
6	2	紙上事例の施設入所者を対象に、老年看護学実習記録様式2を使用しグループワーク② 分析・解釈	講義 GW	専任教員		
7	2	紙上事例の施設入所者に対する援助計画の立案	講義 GW	専任教員		
8	1	終了試験	試験	専任教員		
評価方法	筆記試験(講師①50点、②50点の合計100点) その他、出席状況・授業への参加態度・課題の提出で総合的に評価する					
評価基準	60点以上で合格 60点未満の場合は再試験(1回のみ)					
テキスト	系統看護学講座 専門分野 老年看護学 医学書院 系統看護学講座 専門分野 老年看護 病態・疾患論 医学書院					
参考文献	山田律子編集：生活機能からみた老年看護過程 医学書院 解剖生理学 人体の構造と機能① 医学書院 系統看護学講座 専門分野 成人看護学 [7] 脳・神経 医学書院 系統看護学講座 専門分野 成人看護学 [2] 呼吸器 医学書院					
備考	老年看護学概論、老年看護学方法論Ⅰ・Ⅱで習得した知識を活用し、加齢に伴う特徴的な健康障害から起こる生活機能障害時の看護を紙上事例を通して展開する。					